

令和6年度

昭和音楽大学 教員・研究員 研究発表 ②



森 篤史:Voices in the Void 他

発表: 森 篤史 (作曲・ピアノ)

助演: 中村 浩之 (電子音響) 賛助



ナザレ=ニヤタリ:エレガントイッシマー頑張れ、カバキーニヨ(2台ピアノ)

I.アルベニス:組曲「イベリア」より トリアーナ(2台ピアノ)

E.グラナドス:オペラ「ゴイエスカス」より ロサリオのアリア:マハと夜鳴き鶯
“なぜ、ナイチンゲールたちは暗闇で?” (ソプラノと2台ピアノ)

M.d.ファリヤ:舞踊組曲「恋は魔術師」より 火祭りの踊り(舞踊と2台ピアノ)

発表: 濱口 典子 (ピアノ)

助演: 鈴木二美枝 (ピアノ) / 廣田 美穂 (ソプラノ) / 岩部 純子 (舞踊)

2024年 **11月14日**〔木〕 **18:20** 開演〔17:50 開場〕

会場 **昭和音楽大学 南校舎5階 ユリホール**

(小田急線新百合ヶ丘駅南口より徒歩4分)

料金 **入場無料(全席自由)** 会場に直接お越しください。

※未就学児の入場はできません。※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。
※満席となった場合は、ご入場いただけない場合があります。予めご了承ください。





森 篤史 (准教授)

作曲・ピアノ

昭和音楽大学短期大学部准教授。昭和音楽大学音楽学部作曲学科及び大学院を修了、秋田和久氏に師事。PTNAピアノコンペティションA1級銀賞を受賞(1987年)、ヤマハJOC海外公演にてワルシャワ・フィルと共演(1993年)、学生オーケストラの祭典Fanfareを作曲(2002年)。その他、キーボーディストとしてライブサポートやアレンジ、レコーディングも行い、また、Ableton LiveやLogicを含むDAWを駆使したトラック制作、ポピュラー音楽の楽曲分析とソルフェージュ教材の開発研究に専念。デジタル技術と音楽教育の融合を専門としている。



中村 浩之 (賛助)

電子音響

ピアニスト、作曲家、電子音楽家、映像作家。昭和音楽大学ピアノ音楽コース卒業。ジャズ、ポップス、クラシック等、ジャンルレスなピアニストとして活躍。多くの映画、映像作品、舞台の音楽制作やオーケストラアレンジを担当する他、音楽監督としても活動。5月には川崎駅前にて自身が映像、音楽、演出を手掛けたエレクトリックオペラ“VENUSの祝祭”を開催し成功を収める。2024年、川崎市政100周年緑化フェアの音楽監督に就任し、様々な音楽企画を進行中。10月にポストクラシカルオーケストラ作品でロサンゼルスからリリースが決定している。



濱口 典子 (非常勤講師)

ピアノ

武蔵野音楽大学大学院修了。第13回下八川賞受賞。スペイン文化省等の奨学金を得て渡西を重ね、Andrés Segovia-José Luis Morales賞受賞。スペインやメキシコ各地にてピアノリサイタルを行う。Teresa Berganza, Maria Bayo, Julio Muñoz各氏の来日に際して、通訳やアテンドを務める。昭和音楽大学および大学院講師。日本スペインピアノ音楽学会及び日西経済友好会理事。日本カタルーニャ友好親善協会・日本バスク友好会・日本音楽表現学会会員。



鈴木二美枝 (教授)

ピアノ

筒井憲子氏、渡辺千世氏に師事。私立豊島岡女子学園高等学校2年在学中、NHK・FM「タペのリサイタル」に出演。渡辺千世氏の下でM.エッガー氏に、本学在学中にG.アゴ스티氏の公開レッスン等受講。同侪会演奏会等にて歴代の本学学長奥田良三、吉田貴壽、名誉教授川上久雄、黒田隆諸氏と共演。本教員研究発表にて川染雅嗣教授とアレンスキー「2台ピアノのための組曲」全5曲を共演。日本スペインピアノ音楽学会会員。昭和音楽大学短期大学部教授。



廣田 美穂 (准教授)

ソプラノ

昭和音楽大学卒業、ローマ・サンタ・チェチーリア国立音楽院修了。文化庁新進芸術家海外留学制度研修員。07年日伊声楽コンクール、日本音楽コンクール声楽部門で共に第1位。これまでにイタリア国营放送、NHK-FM、ヴェルディ・レクイエム、ベートーヴェン：交響曲第9番、「ラ・ボエーム」「ナブッコ」「仮面舞踏会」など出演。藤原歌劇団団員、日本オペラ振興会歌手育成部講師、昭和音楽大学短期大学部准教授。



岩部 純子 (専任講師)

舞踊

クラシックバレエを岸辺光代に師事。成城大学卒業後フランスに留学、フランス文化通信省公認クラシックバレエ教師国家資格取得。帰国後は各地のバレエスタジオ、講習会にてダンサーの体の理解と保護を目的としたバレエクラス、ボディコンディショニングクラスを指導、2015年より昭和音楽大学専任講師。